

INFO-HIRO-21

第461号 2018年11月16日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

日本機械学会東北支部特別講演会のお知らせ

日本機械学会東北支部では、毎年著名な研究者を招待し、学生、教員、一般市民等を対象とした講演会を開催しております。今年度は11月22日(木)に、弘前大学理工学部での開催を予定しており、この機会に学内の多くの研究者や学生・大学院生にも本講演会にご参加いただき、関連分野の発展や今後の研究連携の樹立にご協力いただきたく存じます。

講演 「き裂の力学と検査・関連領域における研究体験」

講師 東北大学大学院工学研究科ファインメカニクス専攻 教授 坂 真澄
(日本機械学会副会長, 日本機械学会材料力学部門長,
日本材料学会破壊力学部門委員会委員長, 日本非破壊検査協会会長を歴任)

概要 種々の機械や構造物の健康診断に関する紹介をします。最も危険な欠陥であるき裂に関する力学と非破壊検査, そしてそれから派生した展開についてわかりやすく解説します。

開催日 2018年11月22日(木) 14:20-15:50

会場 弘前大学理工学部2号館2階 第11講義室(青森県弘前市文京町3)

主催 日本機械学会東北支部

共催 日本精密工学会東北支部
弘前大学大学院工学研究科
弘前大学大学院工学研究科附属医用システム創造フロンティア

後援 青森県工業会
ひろさき産学官連携フォーラム

参加費 無料

申込方法 申し込みは不要です。当日お気軽にお越しください。

問合わせ先 弘前大学大学院工学研究科 笹川 和彦
電話 (0172)39-3675 / Email: sasagawa@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学男女共同参画推進室 平成30年度 第1回「さんかくカフェ」開催のお知らせ

「さんかくカフェ」とは、参加者同士がお茶を飲みながら語り合うことを通して、男女共同参画に向けたよりよい支援等のあり方を考え、弘前大学の教職員や学生同士がつながることをめざすものです。

今年度1回目の「さんかくカフェ」は「性別やライフステージにかかわらず働きやすく学びやすい これからの弘大～男性の育児・介護～」と題して、現在「子育て・介護中の研究者支援員制度」を活用されている男性教員から話題提供をいただきます。

ぜひお気軽にご参加ください。

※お子様同伴のご参加歓迎いたします。

「次世代育成サポーター養成講座」を終了した見守りサポーター(本学学生)がお子様の見守りをいたします。

平成30年度
第1回 さんかくカフェ
性別やライフステージにかかわらず
働きやすく学びやすい これからの弘大
～男性の育児・介護～

今日は「男性の育児・介護」がテーマです！
現在「子育て・介護中の研究者支援員制度」を活用して子育て・家事と業
務を両立中の男性教員から話題提供をいただきます。
学部や立場を越えて、男性はもろろん女性も、お茶を飲みながら気軽に
語り合ってみませんか？お気軽にご参加ください！
（お子様同伴のご参加歓迎です。「次世代育成サポーター養成講座」を終了した見守り
サポーター(本学学生)がお子様の見守りをいたします。）

日時 平成30年11月29日(木) 17～18時
会場 保健学研究科 A棟 大会議室
対象 弘前大学教職員・学生
会費 無料
定員 20名(先着順)

氏名・所属をご記入の上、11月22日(木)までにメールにて
男女共同参画推進室までにお申込みください。

予 告
第2回さんかくカフェは12月1日(水) 12～13時、「グローバルな視点からみた
男女共同参画」(題)をテーマに又同場場で開催予定です。

主催：弘前大学男女共同参画推進室
電話：0172-39-3888 Email: equality@hirosaki-u.ac.jp
URL: http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/

記

1. 日 時：平成30年11月29日（木）17:00～18:00
2. 場 所：保健学研究科 A棟 大会議室
3. テーマ：「性別やライフステージにかかわらず働きやすく学びやすい これからの弘大～男性の育児・介護～」
4. 参加費：無料
5. 対 象：弘前大学教職員・学生（定員20名・先着順）
6. 申込方法：「氏名」・「所属」をご記入の上、11月22日（木）までに下記宛てにメールにてお申し込みください。

参照 URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/6950.html>

申込み・問合せ先：弘前大学男女共同参画推進室

TEL: 0172-39-3888 Email: equality@hirosaki-u.ac.jp

URL: <http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

「第55回 生体応答科学研究セミナー」開催のお知らせ

保健学研究科では北海道大学大学院医学研究院から清水伸一教授をお招きし、標記のセミナーを開催いたします。

北海道大学では1999年からX線治療で、2014年からは陽子線治療で、X線透視を用いてリアルタイムに腫瘍位置情報を得て治療放射線を制御する技術を実現し、臨床応用を行っています。医学・理学・工学、各領域の研究者の融合と産学連携がもたらす技術開発と放射線治療のこれからと今後について概説を試みたいと思っておりますので、興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。

【日 時】 11月30日（金） 18:00～19:00

【会 場】 保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1（弘前市本町66-1）

【テーマ】 「実時間画像誘導技術と放射線治療」

【講 師】 北海道大学大学院医学研究院 放射線医理工学教室 教授 清水 伸一 先生

弘前大学大学院保健学研究科
生体応答科学研究センター主催
第55回 生体応答科学研究セミナー
「実時間画像誘導技術と放射線治療」

北海道大学では1999年からX線治療で、2014年からは陽子線治療で、
X線透視を用いてリアルタイムに腫瘍位置情報を得て治療放射線を制御
する技術を実現し、臨床応用を行っています。
医学・理学・工学、各領域の研究者の融合と産学連携がもたらす技術開発
と放射線治療のこれからと今後について概説を試みたいと思っております。

日 時 11月30日(金) 18:00～19:00
場 所 弘前大学大学院保健学研究科
F棟1階 大学院講義室1(弘前市本町66-1)
講 師 北海道大学大学院医学研究院
放射線医理工学教室 教授 清水 伸一 先生
対 象 学部学生・大学院生・教職員・
その他興味のある方などでも
※受講無料・申し込み不要

お問い合わせ：生体応答科学研究センター事務局（奥田 聡村）
TEL: 0172-39-3518 E-mail: rcb2016@hirosaki-u.ac.jp

【対 象】 学部学生・大学院生・教職員 *申込等不要

【主 催】 弘前大学保健学研究科 生体応答科学研究センター

【お問い合わせ】

弘前大学保健学研究科 総務グループ (担当: 桑田, 柏村)

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL: : 0172-39-5518 E-mail: rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院保健学研究科-ストックホルム大学放射線防護研究センター 放射線生物学合同セミナー

「Issues in radiation biology and radiological protection」開催のお知らせ

保健学研究科は、平成25年3月にストックホルム大学放射線防護研究センターと部局間学術協力協定を締結してから、放射線教育・研究の両面で相互に情報共有や教員や学生の人的交流を過去5年間継続してまいりました。

今回はストックホルム大学よりWojcik教授と研究員・大学院生をお招きして、本学及びストックホルム大学で取り組む若手研究者及び大学院生による放射線生物学及び放射線防護学に関連する研究交流セミナーを開催いたします。

学生・研究員・教職員どなたもお気軽にご参加ください。

【日 時】 平成30年12月4日 (火) 15:00~17:15

【会 場】 保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1 (弘前市本町66-1)

【テーマ】 「Issues in radiation biology and radiological protection」

【対 象】 学部学生・大学院生・研究員・教職員 *申込等不要

【プログラム】 ※発表等はすべて英語で行います

時 間	内 容
15:00 - 15:20	Chromatin and radiation sensitivity <u>Lovisa Lundholm</u> <i>et al.</i> (Stockholm Univ.)
15:20 - 15:40	Characteristics of bone marrow subpopulation in a mouse model under high dose rate ionizing radiation exposure <u>Yuki Morino</u> <i>et al.</i> (Hirosaki Univ.)
15:40 - 16:00	Impact of low dose rate exposure on VH10 cells <u>Pamela Akuwudike</u> <i>et al.</i> (Stockholm Univ.)
16:00 - 16:20	Effect of metabolic syndrome on cytogenetic biodosimetry <u>Kaito Yanagidate</u> (Hirosaki Univ.)
16:20 - 16:40	The problem of the dose and dose rate effectiveness factor (DDREF) <u>Milagrosa Lopez Riego</u> <i>et al.</i> (Stockholm Univ.)
16:40 - 17:00	Estimation of dose-response curve in cancer cells including radioresistant cells <u>Ryo Saga</u> <i>et al.</i> (Hirosaki Univ.)
17:00 - 17:15	Comments and Conclusions

【共 催】 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター
ばばく医療人材育成推進委員会 グローバル人材育成推進部門

*当セミナーは科研費（国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)：17KK0181)
における課題遂行の一部として実施しております。

【お問い合わせ】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田）
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
TEL：：0172-39-5518 E-mail：rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学男女共同参画推進室 平成30年度 第2回「さんかくカフェ」開催のお知らせ

「さんかくカフェ」とは、参加者同士がお茶を飲みながら語り合うことを通して、男女共同参画に向けたよりよい支援等のあり方を考え、弘前大学の教職員や学生同士がつながることをめざすものです。

今年度2回目の「さんかくカフェ」は「性別や人種、国際などにかかわらず 働きやすく学びやすい これからの弘大 - グローバルな視点からみた男女共同参画 - Towards More Inclusive and Equal Hirosaki University Gender Equality from Global Perspectives」と題して、協定校に留学した学生からニュージーランド、アメリカの男女共同参画事情について話題提供をいただきます。

学部や立場を超えて、ランチを食べながら自由に語り合ってみませんか？

※ランチはご持参ください。

An international student in our campus and a Japanese student who studied at Hirosaki Univ.'s international partner university will give short talks on gender equality situations in NZ and US. Bring your lunch and join us in Sankaku Café if you're interested in gender equality and diversity! (Sankaku means participation in Japanese.)



記

1. 日 時：平成 30 年 12 月 11 日（火）12:00～13:00 12-1p.m. on 11 Dec. 2018
2. 場 所：総合教育棟2F イングリッシュ・ラウンジ
English Lounge, General Education Bldg. 2F
3. テーマ：「性別や人種、国際などにかかわらず 働きやすく学びやすい これからの弘大 - グローバルな視点からみた男女共同参画 - Towards More Inclusive and Equal Hirosaki University Gender Equality from Global Perspectives」
4. 参加費：無料 Free
5. 対 象：弘前大学教職員・学生（定員20名・先着順）
Hirosaki University students, faculty and staff (up to 20 people)
6. 使用言語：英語・日本語（通訳付） English & Japanese
7. 申込方法：「氏名」・「所属」をご記入の上、12月4日（火）までに下記宛てにメールにてお申し込みください。
Please email the organizer by 4 Dec. to participate.
参照 URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/6970.html>

申込み・問合せ先： 弘前大学男女共同参画推進室
TEL： 0172-39-3888
Email： equality@hirosaki-u.ac.jp
URL： <http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

平成30年度第1回 知財塾開催のお知らせ

この度、研究・イノベーション推進機構では、教育・研究活動によって得られた知的財産の保護及び有効な活用により、社会の持続的発展に貢献することを目的に知財塾を開催します。第1回は、発明者自身の技術移転への意識醸成を目的とし、大学発ベンチャーとして活躍されている3つの企業から講師を迎え、どんなことがきっかけで起業したのか、立ち上げの想いや現在の状況、商品紹介、失敗体験、これからの目標等についてご講演いただきます。

知的財産権等に関する知識、理解を深めたい方、ベンチャー企業に興味がある方などは是非ご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホールA・B（文京キャンパス）
2. 日 時：平成30年12月20日（木）18：00～19：30
3. 内 容：
 - ・「地域から世界へ、研究者の好奇心が社会実装を生み出す」
株式会社リピドームラボ 代表取締役 中西 広樹 氏（秋田大学生体情報研究センター）
 - ・「東北の精密ものづくり技術を結集したライフサイエンス機器を世界に！」
株式会社アイカムス・ラボ 代表取締役 片野 圭二 氏（岩手大学発ベンチャー）
 - ・「ライセンスアウト・起業のための知財戦略：「アカデミア知財あるある」の防止に向けて」
株式会社Epigeneron 代表取締役社長 藤井 穂高 氏（弘前大学大学院医学研究科）
4. 対 象：教職員、学生、大学院生、一般企業等
5. 定 員：50名
6. 参加料：無料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、12月7日（金）までに、下記連絡先までお申し込みください。

参加申込み先：弘前大学 研究・イノベーション推進機構 知的資産部門（担当：篠村）

TEL：0172-39-3911 FAX：0172-39-3919

E-mail：chizai@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館第21回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第21回企画展「古代地中海の死後の世界～壁画と副葬品にみる死生観～」を10月19日より12月25日まで開催いたします。

古代地中海のお墓に描かれた壁画には、当時の人々の死後の世界に関する考えが反映されています。お墓の中で生き続けるのか、あの世へ旅立つのか、「あの世」とは楽しい場所なのか、暗く悲しい、あるいは恐ろしい場所なのか？また死者とともに置かれた副葬品からは、故人がどのように素晴らしい人生を生きたのか、当時の価値観を知ることも出来ます。

この展示では、古代地中海世界の壁画や副葬品から死生観を読み解いて行きます。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第21回企画展

「古代地中海の死後の世界～壁画と副葬品にみる死生観～」



弘前大学資料館第21回企画展

古代地中海の死後の世界
壁画と副葬品にみる死生観

2018年10月19日(金)～12月25日(火)

開館 10:00-16:00 日曜・祝日休館 (10月21日(日)は開館)

入館無料 主催 弘前大学資料館

展示に採られた壁画、遺物とともに採られた副葬品から古代地中海世界の「あの世」と「この世」のイメージを紹介します。

2018年10月19日(金)～12月25日(火)

開館 10:00-16:00 日曜・祝日休館 (10月21日(日)は開館)

入館無料 主催 弘前大学資料館

展示に採られた壁画、遺物とともに採られた副葬品から古代地中海世界の「あの世」と「この世」のイメージを紹介します。

会 期：2018年10月19日(金)～2018年12月25日(火)
(日・祝・休日は休館(10月21(日)は開館))

時 間：10:00～16:00

場 所：弘前大学資料館

また、関連イベントといたしまして、ミニレクチャー「呪いの鉛板」、ギャラリートーク「キリスト教のお墓」を開催いたします。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第21回企画展関連イベント

ギャラリートーク「キリスト教のお墓」弘前大学人文社会科学部 教授 宮坂朋

開催日時：2018年12月25日(火) 14:00～14:30

※場所はいずれも弘前大学資料館企画展示室。

資料館まで要申し込み。先着15名

申込先、本件問い合わせ先

・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

「シンポジウム 裁判員の経験を活かす」のお知らせ(再掲)

裁判員制度が施行されて9年が過ぎました。裁判員・補充裁判員経験者は、全国で8万人を超えています。でも、裁判員経験者の「生の声」を聞いたことがあるでしょうか？裁判員経験者の声は、なかなか社会に届いていないのが現状です。

本シンポジウムでは、裁判員経験者の実体験を、裁判員経験者に語ってもらい、あるいは、これまでの様々な場での裁判員経験者の声をご紹介しますことで、まずは裁判員経験者がどのような経験をしているのか、どのようなことを考えていたのかを来場者の皆さんに体験してもらいます。その上で、裁判員経験者の経験をどのように活かせるか、その可能性と、市民の司法参加のあり方について、パネルディスカッションで考えてみたいと思います。裁判員制度に興味のある方は、是非ご来場ください。

1. 日 時：2018年11月24日(土) 14:00～17:00

2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホール

3. 対 象：本学教職員、学生、一般の方等どなたでも(参加無料)
※事前申し込みは不要です。

4. 内 容：

第1部 講演

飯 考行(専修大学法学部)

「裁判員の経験をどう伝えるか」

第2部 裁判員経験者の経験を聞いてみよう

コーディネーター：平野 潔(弘前大学人文社会科学部)

登壇者：裁判員経験者、学生

第3部 パネルディスカッション

コーディネーター：飯 考行

パネリスト：宮崎 秀一(弘前大学教育学部)、法曹関係者、裁判員経験者、学生など

5. 主 催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 弘前大学人文社会科学部・教育学部
※ 裁判員を経験した方で、その経験を守秘義務に違反しない範囲で学生にお話いただける方を募集しています。ご協力いただける方は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

シンポジウム
裁判員の経験を活かす
2018
11/24(土) 入場無料
14:00 - 17:00
弘前大学 創立50周年記念会館
岩木ホール(3階ホール)101号

シンポジウムでは、裁判員経験者の実体験を、裁判員経験者に語ってもらい、あるいは、これまでの様々な場での裁判員経験者の声をご紹介しますことで、まずは裁判員経験者がどのような経験をしているのか、どのようなことを考えていたのかを来場者の皆さんに体験してもらいます。その上で、裁判員経験者の経験をどのように活かせるか、その可能性と、市民の司法参加のあり方について、パネルディスカッションで考えてみたいと思います。裁判員制度に興味のある方は、是非ご来場ください。

プログラム

第1部 裁判員の経験をどう伝えるか ○講師者：飯 考行(専修大学法学部)	第2部 裁判員経験者の経験を聞いてみよう ○コーディネーター：平野 潔(弘前大学人文社会科学部) ○登壇者：裁判員経験者、学生	第3部 パネルディスカッション ○コーディネーター：飯 考行 ○パネリスト：宮崎 秀一(弘前大学教育学部)、法曹関係者、裁判員経験者、学生など
---	---	---

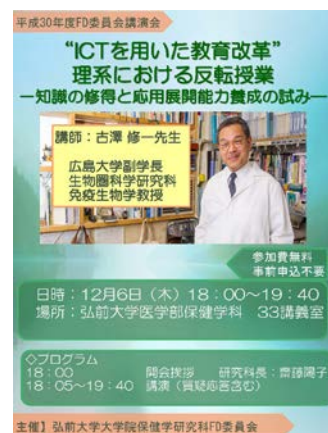
主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター、人文社会科学部、教育学部
協賛：弘前大学地域未来創生センター、弘前大学地域未来創生センター、弘前大学地域未来創生センター

問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
電話 : 0172-39-3199 E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度 弘前大学大学院保健学研究科FD講演会 開催のお知らせ(再掲)

弘前大学大学院保健学研究科では、平成30年度FD講演会を下記のとおり開催いたします。事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日時 : 2018年12月6日(木) 18時00分～19時40分
2. 会場 : 弘前大学医学部保健学科 第33講義室
3. 講演名 : 『“ICTを用いた教育改革”理系における反転授業
—知識の修得と応用展開能力養成の試み—』
4. 講師 : 古澤 修一 先生
(広島大学副学長 生物圏科学研究科 免疫生物学教授)
5. 参加費 : 無料
6. 問合せ : 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ (電話0172-39-5905)



第12回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ(再掲)

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に公開講座を開催いたします。がんゲノム医療、乳がんについて、専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にはわかりやすく講演いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日時 : 平成30年12月2日(日) 13:00～15:30
2. 場所 : 弘前市民会館 大会議室 (弘前市大字下白銀町1番地6)
3. 内容 : 演題 1 がんゲノム医療って何? ～がんと遺伝子の関係～
演題 2 私の乳がんは遺伝するのですか?
4. 対象 : 一般市民(定員100名)
5. 入場料 : 無料
6. 事前申込 : 不要
7. 問い合わせ先 : 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター
TEL : 0172-39-5174 (直通)



学内掲示板

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活を送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申し込みは不要です。

開催日 : H30年 11月22日(木)、12月20日(木) H31年 1月24日(木)、2月28日(木)

時間 : 14:30～15:30 (時間内は出入り自由です。)

場 所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員

参加スタッフ： 室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先： 弘前大学学生特別支援室

T E L : 0172-39-3266 (内線3266) E-mail : g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来，平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して，国際化や男女共同参画の推進，学生支援の充実など，主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

については，多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが，創立70周年記念事業を成功させるため，更なるご支援を賜りますよう，何卒よろしくお願い申し上げます。

なお，創立70周年記念事業のホームページでは，クレジットカードによる寄附も可能でございますので，ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では，各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では，「発見！国立大学」において，弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第50号」

<http://www.janu.jp/report/koho/50gou.html>

下記URLより最新号を含め，今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/>

その他，第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において，本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029